

大鏡の里 平原王墓まつり

～歴史や文化を継承し、地域の活性化を目指して～

糸島市 雷山公民館【公立公民館】 館長 有田 慶二
主事 吉兼 幹富佐

1. 事業名

平原王墓まつり

2. 事業の目的

糸島市の平原遺跡から出土した日本最大の銅鏡である「内行花文鏡」などが、平成18年に国宝に指定されたことを顕彰し、雷山校区の豊かな自然と歴史や文化を大切に継承しながら、校区の活性化と融和を図ることを目的とする。



3. 事業の実施主体、及び、連携・協力機関・団体等

【事業実施主体】

○平原王墓まつり実行委員会

【実行委員会組織】

○雷山校区運営委員会

区長会、小学校、小学校PTA、
保育園、交通安全協会青少年育成
指導員会、校区子ども会育成会連
絡協議会、JA雷山支店、校区団
体代表者

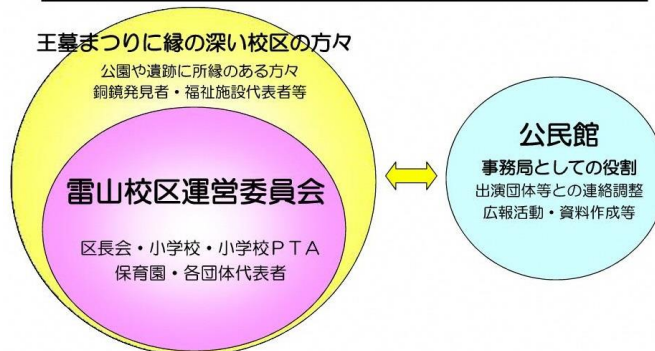
○まつりと縁深い校区の方々

福祉施設、平原歴史公園や遺跡にゆかりのある方々、その他会場設営関係者など

○雷山公民館

事務局として出演団体との連絡調整や広報活動、資料作成など

平原王墓まつり実行委員会 組織図



4. 事業予算

○雷山校区運営委員会より 500,000円

○校区まちづくり補助金より 469,000円

5. 実施に至る経緯

雷山校区には、日本古代史の中で歴史的に重要な意味を持つ国史跡「平原遺跡」があります。平原遺跡は、邪馬台国とともに魏志倭人伝にも記載されている「伊都国」の国王の墓であり、日本最大を誇る銅鏡「内行花文鏡」を含む銅鏡40面などの出土品は、平成18年に国宝に指定されました。

国宝への指定をきっかけに、その価値を伝え、広く語り継いでいきたいという思いを込めて、平成18年10月に第1回平原王墓まつりを開催する運びとなりました。

遺跡が出土した地域は、平原歴史公園として整備され、江戸時代の古民家（旧藤瀬家住宅）も移築復元されました。

また、平原歴史公園周辺にはコスモス畑があり、秋には満開のコスモスを見るため、校区内だけでなく市内外から大勢の方が訪れる観光スポットとなっています。



〔コスモス畑の管理〕



〔満開のコスモス畑（10月頃）〕

6. 事業内容

毎年、平原歴史公園でコスモスが満開となる10月中旬にまつりを開催し、多彩なステージ出演や露店を揃えて、集客力の高い文化行事として定着しています。



〔伊都国女王・王子・王女の出演〕
毎年地元のPTAや学校から選出



〔子どもたちのヒップホップダンス〕



〔平原王墓からの出発式〕



〔来場者で溢れるまつり会場〕



〔九州大学邦楽部による幻想的な雅楽の演奏〕



〔まつりのフィナーレ「糸島市音頭」で総踊り〕

7. 事業の成果

今年で13年目を迎え、地域の事業として定着してきました。毎年、子どもから高齢者の方まで、校区内外を問わず大勢の方が来場され、満開のコスモスやまつりを楽しんでいただいています。

この「平原王墓まつり」は、雷山校区の歴史と密着した最大の文化行事として、校区内外に雷山校区の魅力を知ってもらう絶好の機会となっており、地域の活性化に繋がっています。また、まつりを運営する「平原王墓まつり実行委員会」は、回数を重ねるごとに連携や協力体制が成熟していき、円滑なまつり運営だけでなく、地域住民のつながりを強くする要因にもなっています。

8. 今後の課題

まつりは屋外で行われるため、開催が天候に左右されるなど、不安定な運営を強いられる一面があります。また、事前の準備作業である公園の草刈り作業やコスモス畑の管理（植ええや生育など1年間の管理）、前日の会場準備など、まつり運営は大変な作業労力を伴います。さらに、役員の高齢化など様々な課題があります。

これからも安定したまつり運営を維持継続していくため、地道に課題を解決していくことが必要不可欠です。

問合せ先

〒819-1141 福岡県糸島市蔵持 838 番地 6

糸島市 雷山公民館

TEL・FAX：092-323-0078

E-mail:raizan.k@city.itoshima.lg.jp